

# 胆汁酸12分画

## 研究検査

2018年4月現在

### 検査概要

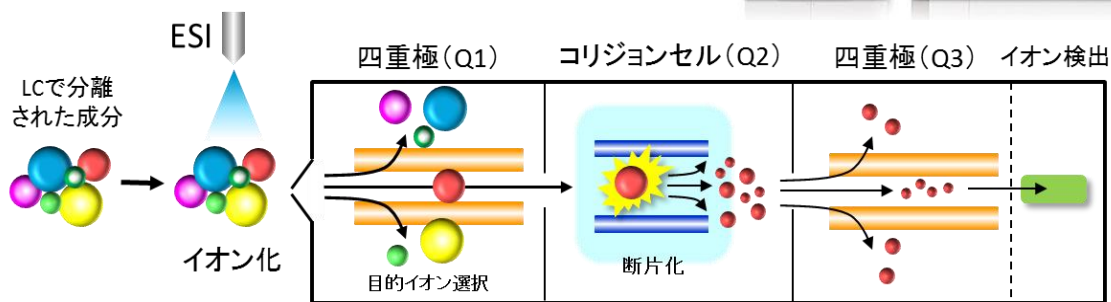
検査法	質量分析 (LC-MS/MS)
検査項目	胆汁酸12分画
材料	血漿、血清
必要量	500 $\mu$ L
保存方法	採血後、ただちに遠心分離し、上清をマイクロチューブに移した後、 $-80^{\circ}\text{C}$ にて保存
最低出検数	30検体以上
納期	検体受領後1カ月

### 使用機器について

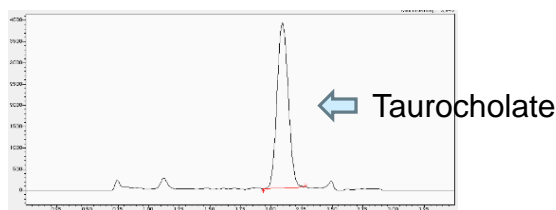
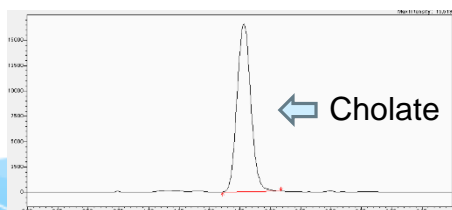
当社では、トリプルQ型質量分析装置を用いたMRM (Multiple. Reaction Monitoring)による定量分析を行っています。

Q1で目的のプレカーシオンを選択し、続くコリジョンセルで不活性化ガスと衝突させ断片化します。さらにQ3でプロダクトイオンを選択することにより、高選択性・高感度の定量分析が可能になります。

検査装置：島津製作所製  
トリプルQ型質量分析装置  
8050



ヒト血清中胆汁酸クロマトグラム



# 胆汁酸とは

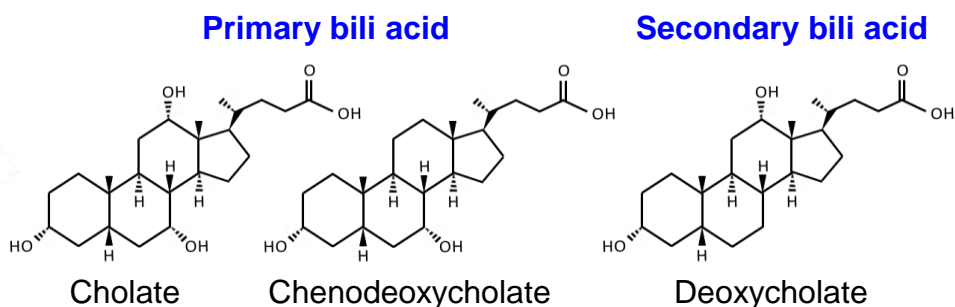
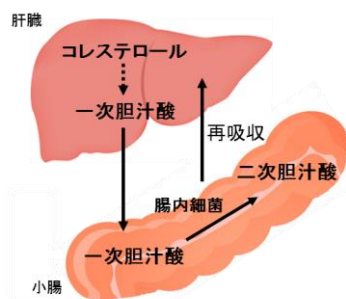
## 臨床的意義（測定意義）

胆汁酸は哺乳類胆汁に広範に認められるステロイド誘導体で、主に消化管内で食物脂肪とミセルの形成を促進し、吸収を促進する働きがあります。

肝臓で生合成されたものを一次胆汁酸といい、腸管で微生物による変換を受けたものを二次胆汁酸と言います。また胆汁酸はグリシンやタウリンと結び付いて抱合胆汁酸を形成します。

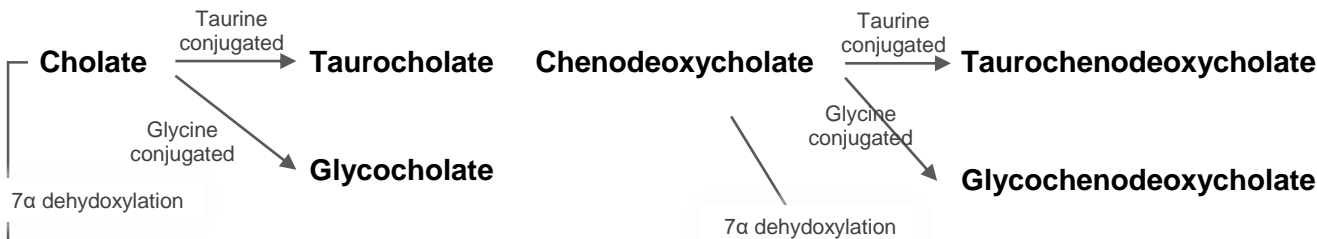
ヒトでは一次胆汁酸であるコール酸（80%）、ケノデオキシコール酸（2%）、二次胆汁酸であるデオキシコール酸（15%）が代表的です。

胆汁酸は肝臓の疾病によって血液中に放出されるため、肝臓病の検査に用いられることがあります。また、胆汁酸はコレステロールからの代謝物であることから、肝疾患だけでなく様々な疾患のマーカーとなり得る可能性が考えられております。

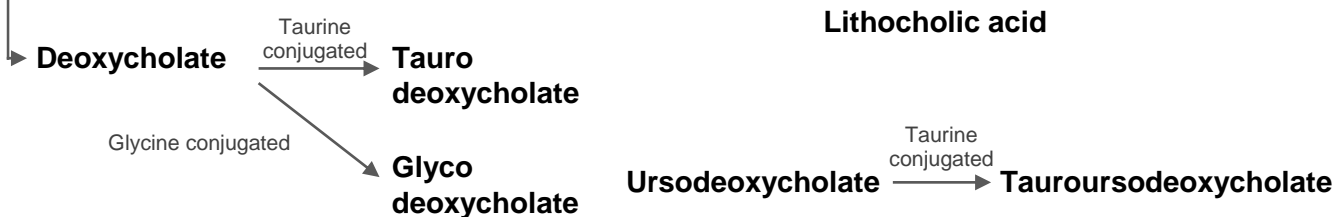


## 測定対象物質

### 一次胆汁酸 (Primary bili acid)



### 二次胆汁酸 (Secondary bili acid)



お問い合わせ



**KPSL**  
九州プロサーチLLP

〒819-0388

福岡県福岡市西区九大新町4-1

九州プロサーチ有限責任事業組合

<https://www.kpsl.jp/>